

10) 稲瀬地区（稲瀬町自治協議会）



● 地域の将来像

稲瀬町の「お宝」である「歴史遺産」の保全を図り、「笑顔と活力に満ちたやすらぎの里」稲瀬町の実現を図ります。

- ・自然に親しみ、生涯現役で暮らせる活力ある稲瀬町の実現を目指します。
- ・歴史遺産や景観資産（男山山頂、国見山山頂、樺山歴史の公園）からイメージされる「行ってみたい町、住みたい町」稲瀬町の実現を目指します。
- ・歴史遺産のまち、稲瀬町の実現を目指します。

● 地域の現状

1. 現在のすがた

北上川東に位置する稲瀬町は、北上駅や北上金ヶ崎 I C から10分ほどの農村地帯で、風光明媚な純農村の原風景を醸し出す環境にあります。また、数多くの遺跡を有し、名勝展勝地に隣接する市民の憩いの地域として親しまれています。

稲瀬町は、水田を中心とした農業経営が進められている中で、休耕田を利用した大豆作付けや朝採りとうもろこしの産地化などの取り組みがなされ、新たな農業政策に沿った経営を模索しています。

稲瀬町の人口の推移（単位：人、%）

年月	人口	増減数	減少率
平成10年4月	1,028	—	—
15年4月	989	△39	3.8
20年4月	931	△58	9.4
25年4月	875	△56	14.9
26年4月	869	△6	15.5
27年4月	859	△10	16.4

※減少率は平成10年度を基準とする。

稲瀬町の人口の推移をみると、平成10年の1,028人に対して、平成20年は931人、減少率9.4%、平成27年では859人、減少率16.4%と人口の減少に歯止めがかかっていません。反面、65歳以上の高齢化率は平成20年で30.0%、平成26年では34.1%と増加の状況にあります。

昭和30年に旧江刺郡から編入した稲瀬町は、市内で一番人口の少ない町ですが、市立公園の一角にある国見山や樺山歴史の広場から望む奥羽山脈は、今も変わらぬ姿に、多くの人々の心にやすらぎと癒しを与えています。

2. 地域活動の状況

地域のまつり行事は、樺山歴史の広場の「樺山まつり」、内門岡地区の「国見山まつり」、上門岡地区の「一夜館・鞍懸まつり」、北上みちのく芸能まつりにおけるかがり火となる国見山梵灯の会による「護摩法要」などがあります。

また、スポーツ活動は、町内6地区対抗による町民運動会やペタンク、グラウンドゴルフなどを通年的に行っています。

一方、交流センター企画による各種教室や北上市社会福祉協議会稲瀬支部のふれあいデイサービスが軌道に乗り、活発な活動を見せていますが、老人クラブの活動は、会員の減少などで停滞しています。

伝統芸能である門岡念佛剣舞は、保存会によって若者に伝承され、みちのく芸能まつり公演、護摩法要での奉納や敬老会などで披露しています。

そのほか、自然景観保持のための道路清掃、草刈りなどの道路愛護活動や、空きびん、空き缶、不法投棄ごみの処理などのクリーン活動、花いっぱい運動などを展開しています。

3. 地域の特性（お宝）

稲瀬町は、国見山廃寺跡、樺山遺跡、下門岡ひじり塚など国や県の指定史跡を有し、北上川流域の金附・境・斉の羽場城遺跡など縄文から近世に至るまでの出土遺物が数多く、市立博物館の展示室を賑わしています。

国見山とその周辺には、中国原産や国内の限られた地域にだけ分布するという珍しい植物があり、極楽寺境内には薬草が生え、俵岩山には春から秋まで数多くの山野草が咲き誇り、地元民の目を楽しませています。

また、国見山山頂には「平和大観音像」が、男山山頂には「やすらぎの像」が建立され、市内をやさしく見守っています。

稲瀬町は、旧伊達藩に属し、立花との境に

は藩境塚が復元され、伊達藩の文化風習は現在でも色濃く残っています。また、樹齢410年のエドヒガンザクラは町内外の方々の関心の的となっています。

農産物では、稲作栽培を中心とし、下門岡地区は肥沃な砂壤土による野菜の生産が盛んであり、近年は「朝採りとうもろこし」として市場に出荷され、特産品としての評価が高まっています。

● 地域の課題

1. 仮称「北上東部循環道路」等幹線道路及び生活道路の整備の促進
2. 仮称「下門岡地区多目的広場」（金附公共用地）の利活用の促進（NPO法人及び市との協議）
3. 岩手県交通岩黒線の路線廃止の課題
4. 下水道の全地域完備の促進
5. 情報通信網（インターネット環境、地上デジタル環境）の整備の促進
6. 国指定史跡国見山廃寺跡など歴史遺産の地元ガイドボランティアの養成
7. 人口減少及び空き家対策の課題
8. 若者の地域活動への参加の促進
9. 農業後継者難の課題
10. ごみ不法投棄の課題

● 地域づくりのプラン

～生活環境の整備～

・稲瀬町PR事業

稲瀬町出身者へ稲瀬町のまつり行事などの情報を提供する。

・空き家対策事業

市の方針に基づき、稲瀬町独自の取り組みを推進する。

・人口減少対策事業

特産物開発やまつり事業などあらゆる事業を通じて、稲瀬町の魅力を発信し、人口の減少に歯止めをかける。

・予約型乗合タクシー運行事業検証事業

路線バスが廃止され、町内の一部地域における代替交通手段の予約型乗合タクシー運行事業（支線交通運行事業）の実績を確認し、今後の事業の望ましい運営方策を見出します。

～地域環境整備～

・下門岡多目的広場活用事業

ソーラー発電事業の事業主体であるNPO法人及び市と協議しながら、稲瀬町にふさわしい利活用を図る。

・災害緊急情報の一斉配信事業

携帯電話所有者が防災情報を一斉に受信できるシステムを整備する。

～地域活性化対策～

・特産物開発事業

とうもろこしの産地化やコーンスープ開発と、米のブランド化を推進する。

・まつり開催事業

樺山まつり、国見山まつり及び一夜館・鞍懸まつり事業を創意工夫し、通年行事として推進する。

～歴史遺産保全～

・稲瀬町歴史遺産ガイドボランティア研修講座及び国指定史跡等周辺環境整備事業

研修講座や実地研修を実施するほか、国見山廃寺跡の周辺環境を整備する。

・稲瀬町歴史遺産等フォトコンテスト事業

国、県、市指定の史跡や市の景観資産等の写真撮影を通じて、北上市稲瀬町を内外に発信する。

毎年、2月1日から翌年1月末日までに撮影された写真を募集し、優秀な作品を表彰する。

・稲瀬町歴史編さん事業

稲瀬町が北上市に編入になった昭和30年以降の変遷を編さんする。

～自然景観保全～

・ウォーキングロード周辺環境整備事業

町内のウォーキングロード周辺の環境を整備する。

・田合田川等小河川親水事業

田合田川や町内の小河川の雑木伐採や川底の清掃により、フナやサワガニ、小エビ、蛍等の生息環境の整備を図る。

～高齢者福祉～

・人材バンク事業

行事や買い物などの送迎ボランティアを募り、登録し、その活用を図る。

・活いききサークル事業

各地区のふれあいデイサービスが連携し、合同ふれあいデイサービスを実施する。

～障害者福祉～

・障害者支援事業

障害者支援の相談窓口を設置する。

～子ども対策～

・子ども対策事業

子どもに関する相談窓口の設置、くにみ保育園園庭の開放及び各地区の合同子ども会を開催する。